



障がいのある子どもたちをはげますための

大阪YMCA第10回チャリティーラン2004

輝く笑顔がいっぱい！！

寄せられた支援金は三百四万八千円

運営や競技への参加者は過去最多

2004年11月7日 (日) 第10回チャリティーランが吹田市万博記念公園にて開催されました。今大会は、順位制16チーム、宣言タイム制34チーム、オープン参加2チームの計52チームが競技に参加しました。今回、過去最多の680名が大会の運営や参加者として貴重な時間を共有しました。



初参加に向けた練習に成果あり

「H・Hキャンパ虹」チーム

開会式が始まる前から念入りにストレッチをしているチームがありました。今回、チャリティーラン初参加の「H・Hキャンパ虹」チームです。今大会に参加することが決まってから、週に2回ほどフィットネスクラブに通い、この日に備えて練習を積んできました。走り終わったランナーから



楽しかった‘侍’パフォーマンス

YMCA国際専門学校の齋藤さん

大勢のジャージ姿の中、ひときわ目立つ紋付袴姿のその青年は、YMCA国際専門学校の齋藤剛さん。各競技の結果発表までの待ち時間、3歳の頃から始めたという剣術を披露してく

和やかな雰囲気の中、T西日本大阪支店営業グループの「ロックジーズ」は、馬のかぶり物をバトン代わりに、スイミングキャンプとゴーグルを着け、会場でもひときわ目立っていました。普段は同じ営業グループということでチームワークは抜群。中谷さんは「普段の営業回りの自転車であ

ひときわ目立ったスタイル

「ロックジーズ」チーム

1995年第1回大会が大阪城公園にて行われて以来、大阪府内の公園や河川敷とあらゆる地域で大会が行われ、今回は第10回という記念の大会となりました。その変遷もこの大会を機に振り返

このプログラムで得たものは大阪YMCAで計画されている障がい児プログラムへの支援金のチャリティーだけにとどまらず、関西圏在住の障がい



観客をステージに上げて剣を交えるなど、見慣れないパフォーマンスに参加者は興味深く見入っていました。「以前、神戸YMCAのチャリティーランで走ったことがあるが、今回は何かパフォーマンスをしてみたいかと声がかかり、やってみようと思いました。こんな広々としたところで剣術のパフォーマンスができる楽しかったです。次は走ってみたい！」と来年への意気込みを語ってくださいました。(勢井智子)

沿道の応援がうれしかった

「東YMCA」チーム

「狙いは「コスチュームは高年齢者支援施設サンホームのデイサービスを利用されている方がボランティアでウエルネスのスタッフと一緒に作って下さいました。」万博「世界に羽ばたく」にあやかりYMCAも世界に羽ばたくように、そしてこれを見



生れた団結力と思いやり

「南海福祉専門学校」チーム

南海福祉専門学校の「ネッシー、ヨッシー、僕いっしょ」チームはメンバー全員が学生ということで学校の近くの駅で募金活動を行い、自ら参加資金を集めて参加したのです。学校の授業や行事で忙しいにもかかわらず、チーム全員での募金活動。1週間かけて集めた資金と共に生まれたのは、チームの団結力と仲間を思いやる気持ちでした。メンバーが走っている時は仲間を見守り、常に声を掛け合い、お互いを励ましていました。最終走者が帰ってくると、走り終えたメンバーたちも



